（様式①）

事　業　計　画　書　目　次

[港湾局]　　１５款２項１目　港湾施設等改良費　　（単位：千円）

計画書頁	事　業　名	令和６年度		令和５年度		増△減（６－５）		新規・拡充
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債	
1	建設事務費	4,632	4,632	3,926	3,926	706	706	
2	積算業務電算化事業	3,834	3,834	6,656	6,656	▲ 2,822	▲ 2,822	
3	南本牧ふ頭建設費（既設外周護岸負担金）	584,000	584,000	584,000	584,000	0	0	
4	海岸保全施設整備事業	89,000	59,000	38,000	25,200	51,000	33,800	
5	カーボンニュートラルポート形成事業	286,000	147,000	190,000	100,000	96,000	47,000	○
6	新港歩行者デッキ整備事業	10,000	5,000	0	0	10,000	5,000	
7	大さん橋ボーディングブリッジ整備事業	210,000	140,000	0	0	210,000	140,000	○
8	赤レンガパーク改修事業	20,500	20,500	0	0	20,500	20,500	○
9	南本牧ふ頭内道路等改良事業	20,000	20,000	0	0	20,000	20,000	○
10	会計年度任用職員雇用経費（建設第一課）	3,697	3,682	0	0	3,697	3,682	○
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
	計	1,231,663	987,648	822,582	719,782	409,081	267,866	

令和6年度　事業計画書

事業局課	港湾局	建設第一課	新規拡充	□ 新規　□ 拡充	事業評価書番号	7
歳出予算科目	一般会計	15 款 2 項 1 目	政策番号	99	施策番号	99
事業名称	建設事務費					

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	4,632	0	0	0	0	4,632
令和5年度	3,926	0	0	0	0	3,926
増▲減	706	0	0	0	0	706

歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	3,973	4,907
	市債＋一般財源	3,973	4,907
決算	事業費	4,521	6,441
	市債＋一般財源	4,521	6,441

令和7年度	令和8年度	令和9年度
4,632	4,632	6,832
4,632	4,632	6,832

事業概要（アクティビティ）	港湾局建設第一課の事業遂行にあたり必要な事務費

事業指標①（アウトプット）		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
	単位	目標							
		実績							

事業指標②（アウトカム）		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
	単位	目標							
		実績							

事業目的	建設第一課の業務遂行にあたり必要な経費の執行
背景・課題	
根拠法令・方針決裁等	横浜市契約規則　横浜市物品規則　横浜市予算、決算及び金銭会計規則　横浜市旅費条例
根拠・データ等	所管事業に要する事務経費のとりまとめ及び実績による
事業スケジュール	通年随時執行する
事業開始年度	

（単位：千円）

細事業（事業内訳）		細事業名称	6年度	5年度	差引（増減）	増減説明
	1	建設事務費	4,632	3,926	706	実績による増
		細事業合計	4,632	3,926	706	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長 高村 英一	係長 櫻井 貴廣	仲戸川 奈央

令和6年度　事業計画書

事業局課	港湾局	建設第一課	新規拡充	□ 新規　□ 拡充	事業評価書番号	6
歳出予算科目	一般会計	15 款 2 項 1 目	政策番号	99	施策番号	99
事業名称	積算業務電算化事業					

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	3,834	0	0	0	0	3,834
令和5年度	6,656	0	0	0	0	6,656
増▲減	▲2,822	0	0	0	0	▲2,822

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	4,749	2,070	8,674	8,674	8,674
予算	市債＋一般財源	4,749	2,070	8,674	8,674	8,674
決算	事業費	2,871	3,111			
決算	市債＋一般財源	2,871	3,111			

事業概要 （アクティビティ）	・積算業務の省力化のための積算システムの運用維持 ・発注者支援システムの港湾局負担（財政局一括契約） ・施工パッケージ標準単価の更新委託・積算システム単価改定のための物価資料購入 ・工事発注に伴う資材価格調査業務

事業指標① （アウトプット）		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
	単位	目標							
		実績							

事業指標② （アウトカム）		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
	単位	目標							
		実績							

事業目的	工事発注全般に係る必要不可欠な業務援助
背景・課題	
根拠法令・方針決裁等	・積算システムの導入に関しては平成27年度財政局通知「新土木工事積算システムの導入について」による ・資材価格調査に関しては「土木工事標準積算基準書」第2章工事費の積算、「港湾工事積算基準」第２章直接工事費において特別調査で価格を決定する旨の記載あり
根拠・データ等	「根拠法令・方針決裁等」と同じ
事業スケジュール	・平成16～26年度　土木工事積算システムの構築及び運用維持 ・平成27年度　土木工事積算システムの運用維持と新規導入システムの構築 ・平成28年度～　土木工事積算システムの運用維持継続と新規導入システムの運用
事業開始年度	平成16年度

（単位：千円）

細事業（事業内訳）		細事業名称	6年度	5年度	差引（増減）	増減説明
	1	積算業務電算化事業	3,834	6,656	▲2,822	アロケ率変更による減
		細事業合計	3,834	6,656	▲2,822	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長 高村 英一	係長 櫻井 貴廣	川合 彩加

令和6年度　事業計画書

事業局課	港湾局	新本牧事業推進課	新規拡充	□ 新規　□ 拡充	事業評価書番号	5
歳出予算科目	一般会計	15 款 2 項 1 目	政策番号	37	施策番号	2
事業名称	南本牧ふ頭建設費（既設外周護岸負担金）					

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	584,000	0	0	0	0	584,000
令和5年度	584,000	0	0	0	0	584,000
増▲減	0	0	0	0	0	0

歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	346,500	264,000
	市債＋一般財源	346,500	264,000
決算	事業費	346,500	264,000
	市債＋一般財源	346,500	264,000

令和7年度	令和8年度	令和9年度
584,000	584,000	584,000
584,000	584,000	584,000

事業概要（アクティビティ）	埋立事業会計で整備を進めてきた南本牧ふ頭第５ブロックの一部に、新規廃棄物最終処分場を整備することとしたことから、埋立事業会計において建設した既設外周護岸等の費用の一部を負担するものです。 負担額の内、１／１０を港湾局が負担します（残りは資源循環局が負担）。

事業指標①（アウトプット）		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
	単位	目標							
		実績							

事業指標②（アウトカム）		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
	単位	目標							
		実績							

事業目的	南本牧ふ頭第５ブロック処分場の整備にあたり、埋立事業会計において建設した既設外周護岸等に対する負担金を、企業債償還の終了時（令和12年度頃）まで資源循環局と分割して支出します。
背景・課題	第5ブロック廃棄物処分場施設概要 ①　施設の所在地　　：中区南本牧４番地先 ②　廃棄物計画受入量：400万m3 ③　埋立面積　　：16.4ha ④　廃棄物受入期間　：受入開始から概ね５０年
根拠法令・方針決裁等	「南本牧ふ頭第５ブロック廃棄物最終処分場埋立事業について（方針決裁）」（平成19年1月）
根拠・データ等	既設外周護岸等負担金
事業スケジュール	平成19年度　既設外周護岸等負担金　支出開始 令和12年度　　〃　　支出終了予定
事業開始年度	平成19年度

（単位：千円）

細事業（事業内訳）	細事業名称	6年度	5年度	差引（増減）	増減説明
	1 既設外周護岸等負担金	584,000	584,000	0	
	細事業合計	584,000	584,000	0	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長 石井 雅樹	係長 三浦 正寛	古性 華奈

令和6年度　事業計画書

事業局課	港湾局	建設第一課	新規拡充	□ 新規　□ 拡充	事業評価書番号	3
歳出予算科目	一般会計	15 款 2 項 1 目	政策番号	37	施策番号	5
事業名称	海岸保全施設整備事業					

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	89,000	30,000	0	0	45,000	14,000
令和5年度	38,000	12,800	0	0	19,000	6,200
増▲減	51,000	17,200	0	0	26,000	7,800

歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	45,300	55,000
	市債＋一般財源	45,300	37,000
決算	事業費	40,743	149,237
	市債＋一般財源	40,743	90,240

令和7年度	令和8年度	令和9年度
175,000	244,000	231,000
107,400	156,400	148,600

事業概要（アクティビティ）	・百数十年に一回程度の頻度で発生する津波と高潮による浸水被害から人命や財産を防護するため、平成28年３月に神奈川県の海岸保全基本計画に本市域の海岸保全施設の整備計画を位置付けました。 ・海岸保全基本計画に基づいて、海岸保全施設の整備を進めていきます。

事業指標①（アウトプット）		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
海岸保全施設の整備延長	単位	目標	317	308	222	130	140	270	270
	m	実績	317	79					

事業指標②（アウトカム）		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
	単位	目標							
		実績							

事業目的	津波及び高潮から市民の生命・財産を守ることを目的に、海岸保全基本計画に基づき、海岸保全施設（胸壁、陸閘）を整備するものです。
背景・課題	横浜港においては、これまで高潮を考慮した一定の高さで埋立を実施することで、特別な対策を実施してきていませんでした。 しかし、平成２３年の東日本大震災において東京湾内の津波の状況を踏まえ、津波対策が見直しされたことを受け、平成２８年に神奈川県の海岸保全基本計画に本市域を位置付けることとなりました。
根拠法令・方針決裁等	港湾法　海岸法　平成27年12月方針決裁　令和元年10月方針決裁
根拠・データ等	海岸保全基本計画
事業スケジュール	平成25～27年度：海岸保全基本計画改正に係る解析検討、平成28年度：横浜港内の海岸保全施設の整備に向けた調査 平成29年度：区域設定のための測量等、設計調査、海岸保全区域の指定（大黒ふ頭）、平成30年度：地質調査・測量・設計（大黒ふ頭） 平成31年度：地質調査・測量・設計・工事（大黒ふ頭）、海岸保全区域等の指定（金沢地区） 令和２年度：地質調査・測量・設計・工事（大黒ふ頭） 令和３年度：地質調査・測量・設計・工事（大黒ふ頭）、測量・設計（金沢地区） 令和４年度：工事（大黒ふ頭） 令和５年度：工事（大黒ふ頭） 令和６年度：工事（大黒ふ頭） 令和７年度～：地質調査・測量・設計・工事・維持管理計画策定（大黒ふ頭）
事業開始年度	平成25年度

（単位：千円）

細事業（事業内訳）	細事業名称	6年度	5年度	差引（増減）	増減説明
	1 海岸保全施設整備事業	89,000	38,000	51,000	施工箇所増による
	細事業合計	89,000	38,000	51,000	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長 高村 英一	係長 下川 大輔	北野 龍馬

令和6年度　事業計画書

事業局課	港湾局	政策調整課	新規拡充	■ 新規　□ 拡充	事業評価書番号	9
歳出予算科目	一般会計	15 款 2 項 1 目	政策番号	37	施策番号	4
事業名称	カーボンニュートラルポート形成事業					

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	286,000	139,000	0	0	125,000	22,000
令和5年度	190,000	90,000	0	0	90,000	10,000
増▲減	96,000	49,000	0	0	35,000	12,000

歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	50,000	0
	市債＋一般財源	25,000	0
決算	事業費	0	33,202
	市債＋一般財源	0	33,202

令和7年度	令和8年度	令和9年度
506,300	2,015,700	2,022,000
305,650	1,985,350	1,988,550

事業概要 （アクティビティ）	陸上電力供給設備整備、臨港パーク先端部等整備、みなとみらい21新港地区等照明施設LED化等を通じて、カーボンニュートラルポートの形成を目指します。

事業指標① （アウトプット）		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
	単位	目標							
		実績							

事業指標② （アウトカム）		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
	単位	目標							
		実績							

事業目的	・2050 年の脱炭素社会を実現させるため、国、民間事業者等と連携しながら、カーボンニュートラルポート※（ＣＮＰ）の形成に向けた取組を推進する必要があります。 ※カーボンニュートラルポート：国際物流の結節点・産業拠点となる港湾において、水素、アンモニア等の次世代エネルギーの大量輸入や貯蔵、利活用等を図るとともに、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化等を通じて温室効果ガスの排出を港全体としてゼロにするもの。 ・カーボンニュートラルポートの形成を進めるため、停泊中の船舶のアイドリングによるCO2を削減する陸上電力供給設備、CO２を吸収するブルーカーボン、照明施設のLED化を整備・推進する必要があります。
背景・課題	・2020年の脱炭素宣言以降、「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」で「CNPを形成し、2050 年までの港湾におけるカーボンニュートラル実現を目指す。」ことが明記されたほか、2023年には「ＧＸ実現に向けた基本方針」の策定や「水素基本戦略」の改定がなされ、今後10年間に官民で150兆円規模のＧＸ関連投資が示されるなど、国をあげての脱炭素化に向けた動きが、一段と加速しています。 ・欧州や北米では「Fit for 55」「カーボンニュートラルの達成に向けた2022年スコープ計画」が発表され、陸上電力を使用することが進んでいます。 ・「横浜市地球温暖化対策実行計画」では、令和12年度までに公共施設のLED等高効率照明の割合100%を目標としています。 ・「海洋・雪氷圏特別報告書」では、ブルーカーボンにより年間排出量の約0.5%を吸収できるとされています。
根拠法令・方針決裁等	港湾法、水素基本戦略、2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略、横浜港港湾計画、横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例、横浜市地球温暖化対策実行計画、横浜市環境管理計画など
根拠・データ等	過年度実績等
事業スケジュール	令和４年度　：陸上電力供給設備整備設計 令和５年度　：陸上電力供給設備整備工事 令和６年度　：陸上電力供給設備整備検討、臨港パーク先端部等整備、みなとみらい21新港地区等照明施設LED化
事業開始年度	令和3年度

（単位：千円）

		細事業名称	6年度	5年度	差引（増減）	増減説明
細事業(事業内訳)	1	カーボンニュートラルポート形成事業	0	190,000	▲190,000	整備完了による減
	2	ブルーカーボン推進事業	5,000	0	5,000	新規事業化のため。
	3	みなとみらい21新港地区等照明施設LED化事業	21,000	0	21,000	新規事業化のため。
	4	陸上電力供給設備等整備事業	10,000	0	10,000	新規事業化のため。
	5	臨港パーク先端部等整備事業	250,000	0	250,000	新規事業化のため。
		細事業合計	286,000	190,000	96,000	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長 洞澤 実	係長 赤川 丈拡	三岡 和樹

令和6年度　事業計画書

事業局課	港湾局	建設第一課	新規拡充	□ 新規　□ 拡充	事業評価書番号	4
歳出予算科目	一般会計	15 款 2 項 1 目	政策番号	37	施策番号	3
事業名称	新港歩行者デッキ整備事業					

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	10,000	5,000	0	0	5,000	0
令和5年度	0	0	0	0	0	0
増▲減	10,000	5,000	0	0	5,000	0

歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	0	0
	市債＋一般財源	0	0
決算	事業費	0	288,879
	市債＋一般財源	0	149,279

令和7年度	令和8年度	令和9年度
0	0	0
0	0	0

事業概要（アクティビティ）	新港ふ頭客船ターミナルとサークルウォークを結ぶ歩行者デッキを整備します。

事業指標①（アウトプット）		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
歩行者デッキ　整備工事	単位	目標	調査設計、着工	工事	工事、供用	工事（路面等復旧）			
	進捗	実績	調査設計、着工	工事					

事業指標②（アウトカム）		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
	単位	目標							
		実績							

事業目的	新港地区の水際線沿いには令和元年10月にオープンした横浜ハンマーヘッド（新港客船ターミナル）をはじめとして、マリン＆ウォーク、グランピング施設、女神橋など魅力的な観光スポットが続々と整備されています。更に、令和３年４月に桜木町駅からワールドポーターズを結ぶロープウェイ及びデッキがオープンし、サークルウォークまでデッキレベルで歩行者動線が整備されました。更なる来街者の回遊性向上のためにはサークルウォークと横浜ハンマーヘッドを結ぶ歩行者デッキの整備が必要不可欠です。
背景・課題	新港地区は客船寄港時やイベント時等に見物客や観光客などで大変混雑するため、歩行者の車道横断部や車乗入部など、歩行者と車両が錯綜する箇所の安全性確保が課題となっています。
根拠法令・方針決裁等	港湾法
根拠・データ等	土木工事標準積算基準書、港湾土木請負工事積算基準書、過年度実績
事業スケジュール	令和３年度：調査・設計、工事（橋脚基礎） 令和４年度：工事（橋脚基礎、桁製作） 令和５年度：工事（桁架設、橋面）、デッキ供用 令和６年度：工事（路面復旧等）
事業開始年度	令和２年度

（単位：千円）

細事業（事業内訳）	細事業名称	6年度	5年度	差引（増減）	増減説明
	1 歩行者デッキ整備工事	10,000	0	10,000	事業進捗による増
	細事業合計	10,000	0	10,000	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長 高村 英一	係長 大木 真理子	中島 慎二

令和6年度　事業計画書

事業局課	港湾局	整備推進課	新規拡充	■ 新規　□ 拡充	事業評価書番号	
歳出予算科目	一般会計	15 款 2 項 1 目	政策番号	37	施策番号	3
事業名称	大さん橋ボーディングブリッジ整備事業					

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	210,000	70,000	0	0	140,000	0
令和5年度	0	0	0	0	0	0
増▲減	210,000	70,000	0	0	140,000	0

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	0	0	0	0	0
予算	市債＋一般財源	0	0	0	0	0
決算	事業費	0	0			
決算	市債＋一般財源	0	0			

事業概要（アクティビティ）	大さん橋国際客船ターミナルにおいて、持続的・安定的なオペレーションを維持するため、ボーディングブリッジの整備を行います。

事業指標①（アウトプット）		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
ボーディングブリッジ整備	単位	目標				工事			
		実績							

事業指標②（アウトカム）		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
	単位	目標							
		実績							

事業目的	大さん橋のボーディングブリッジは頻繁に不具合が生じ、客船の受入に支障をきたしていることから、持続的・安定的なオペレーションを維持するため、ボーディングブリッジ１基の製作を行うものです。
背景・課題	現在、大さん橋には自走式のボーディングブリッジを４基所有していますが、うち１基は故障により稼働ができず、２基は製作から30年以上を経過しているため頻繁に不具合が生じ、客船の受入に支障をきたしている状況です。
根拠法令・方針決裁等	港湾法
根拠・データ等	過年度実績
事業スケジュール	令和６年度：工事
事業開始年度	

（単位：千円）

細事業（事業内訳）	細事業名称	6年度	5年度	差引（増減）	増減説明
	1 ボーディングブリッジ整備	210,000	0	210,000	事業進捗による
	細事業合計	210,000	0	210,000	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長 加藤 裕隆	係長 佐藤 大希	小國 恒之

令和6年度　事業計画書

事業局課	港湾局	整備推進課	新規拡充	■ 新規　□ 拡充	事業評価書番号	
歳出予算科目	一般会計	15 款 2 項 1 目	政策番号	37	施策番号	3
事業名称	赤レンガパーク改修事業					

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	20,500	0	0	0	20,000	500
令和5年度	0	0	0	0	0	0
増▲減	20,500	0	0	0	20,000	500

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	0	0	10,000	0	0
予算	市債＋一般財源	0	0	10,000	0	0
決算	事業費	0	0			
決算	市債＋一般財源	0	0			

事業概要（アクティビティ）	赤レンガパークの電気設備等の改修を行います。

事業指標①（アウトプット）		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
赤レンガパーク改修	単位	目標				設計・工事	工事		
	進捗	実績							

事業指標②（アウトカム）		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
	単位	目標							
		実績							

事業目的	横浜都心臨海部における水際線賑わい創出プロジェクトとして、横浜ならではの水際線を生かした回遊性の向上を目指し、様々な取組を進めています。その一環として、みなとみらい２１新港地区の赤レンガパークにて、人々が集まり集える場の創出や歩行者空間の整備などを進めます。
背景・課題	水際線のさらなる賑わいの創出には、観光資源である赤レンガパークで電気設備等のインフラを整備し、回遊性の向上を図ることが必要不可欠です。
根拠法令・方針決裁等	港湾法
根拠・データ等	電気設備工事積算要領、過年度実績
事業スケジュール	令和６年度：設計、工事 令和７年度：工事
事業開始年度	令和６年度

（単位：千円）

細事業（事業内訳）	細事業名称	6年度	5年度	差引（増減）	増減説明
	1 赤レンガパーク改修事業	20,500	0	20,500	新規事業
	細事業合計	20,500	0	20,500	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長 加藤 裕隆	係長 佐藤 大希	青山 和樹

令和6年度　事業計画書

事業局課	港湾局	物流企画課	新規拡充	■ 新規　□ 拡充	事業評価書番号	
歳出予算科目	一般会計	15 款 2 項 1 目	政策番号	38	施策番号	1
事業名称	南本牧ふ頭内道路等改良事業					

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	20,000	0	0	0	0	20,000
令和5年度	0	0	0	0	0	0
増▲減	20,000	0	0	0	0	20,000

歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	0	0
	市債＋一般財源	0	0
決算	事業費	0	0
	市債＋一般財源	0	0

令和7年度	令和8年度	令和9年度
25,000	70,000	0
25,000	70,000	0

事業概要（アクティビティ）	南本牧ふ頭における既存道路等の改良

事業指標①（アウトプット）		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
道路改良等	単位	目標				推進	推進	推進	
		実績							

事業指標②（アウトカム）		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
	単位	目標							
		実績							

事業目的	南本牧ふ頭内の道路改良等による交通渋滞への対応を行い、コンテナターミナルの効率的な運用を図ります。
背景・課題	南本牧ふ頭は土地利用の進展に伴い、埠頭内の搬出入車両が増加し、道路の交通渋滞が課題となっています。
根拠法令・方針決裁等	港湾法、港湾整備促進法
根拠・データ等	平成１３年　４月：ＭＣ－１・２コンテナターミナル供用 平成２７年　４月：ＭＣ－３コンテナターミナル供用 令和３年　４月：ＭＣ－４コンテナターミナル供用 令和３年度以降　：第５ブロックの整備等
事業スケジュール	令和６～８年：南本牧ふ頭内における道路改良等
事業開始年度	令和６年度

（単位：千円）

細事業（事業内訳）		細事業名称	6年度	5年度	差引（増減）	増減説明
	1	南本牧ふ頭内道路等改良事業	20,000	0	20,000	新規事業による増
		細事業合計	20,000	0	20,000	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長 氏家 治	係長 岡田 貴志	立川 碩志

令和6年度　事業計画書

事業局課	港湾局	建設第一課	新規拡充	■ 新規　□ 拡充	事業評価書番号	
歳出予算科目	一般会計	15 款 2 項 1 目	政策番号	99	施策番号	99
事業名称	会計年度任用職員雇用経費（建設第一課）					

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	3,697	0	0	15	0	3,682
令和5年度	0	0	0	0	0	0
増▲減	3,697	0	0	15	0	3,682

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	0	0	0	0	0
	市債＋一般財源	0	0	0	0	0
決算	事業費	0	0			
	市債＋一般財源	0	0			

事業概要（アクティビティ）	

事業指標①（アウトプット）		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
	単位	目標							
		実績							

事業指標②（アウトカム）		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
	単位	目標							
		実績							

事業目的	
背景・課題	
根拠法令・方針決裁等	
根拠・データ等	
事業スケジュール	
事業開始年度	

（単位：千円）

細事業（事業内訳）	細事業名称	6年度	5年度	差引（増減）	増減説明
	1 会計年度任用職員雇用（建設第一課）	3,697	0	3,697	
	細事業合計	3,697	0	3,697	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	係長	